

〈隷書〉

風雨前後蜻蛉荷葉舫
 風前蟋蟀豆花籬

山本飛雲先生書

(この課題で書体は自由。但し、この課題は一人一点のみとする)

半折作品は各課題ごとに横／＼に一枚ずつたんで提出ください。

〈楷書〉

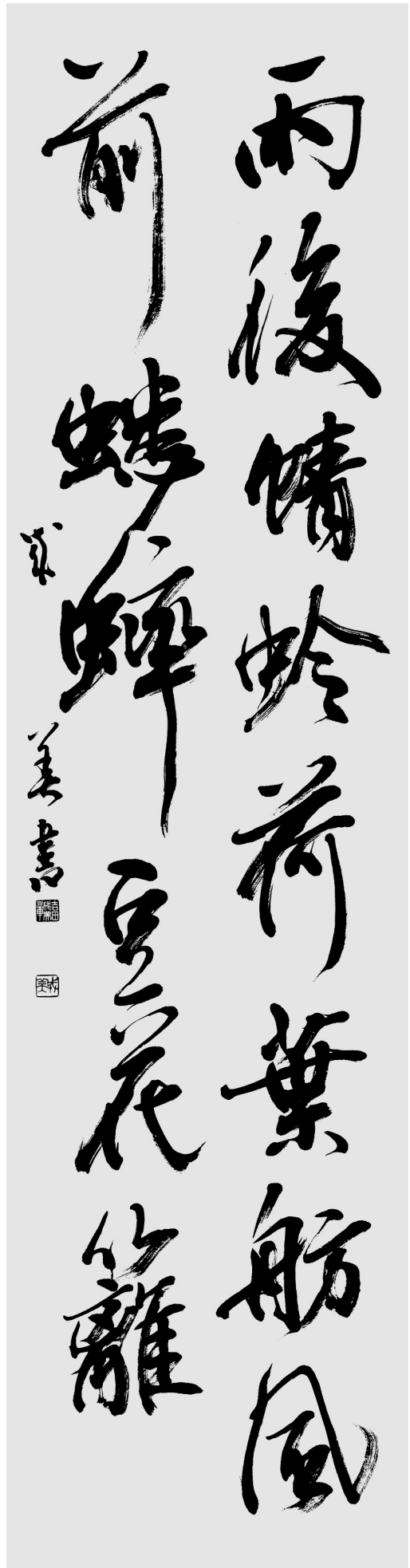
風雨前後蜻蛉荷葉舫
 風前蟋蟀豆花籬

小島秋聲先生書

□ 雨後の蜻蛉荷葉の舫
 風前蟋蟀豆花の籬 (朱鴻樟)

次号予告「栖鴉對寂寥」

〈行書〉

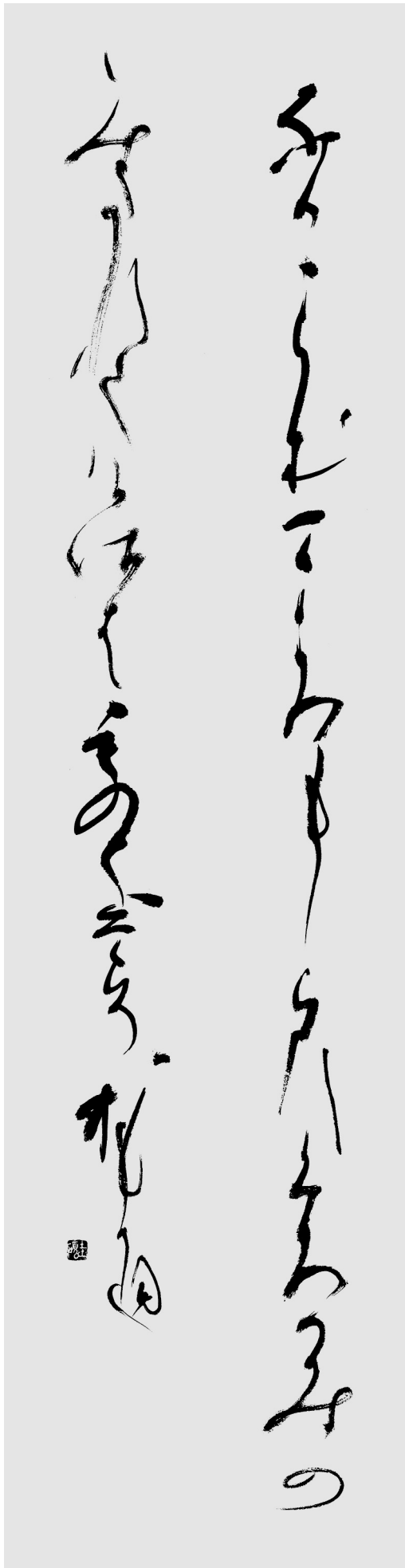


吉田成美先生書

▽雨あげく蜻蛉は蓮の葉を船として止まっている、風吹き豆花咲く垣根にはこおろぎが鳴く。

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書



□な可らむ ころもしら須 くら可みの み多れ氏介佐者 ものをこそおも遍へ

長からむ 心もしらす 黒髪の みたれてけさは 物をこそ思へ

〈百人一首八十〉

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課題は一人一点のみとする）

吉田成美先生臨

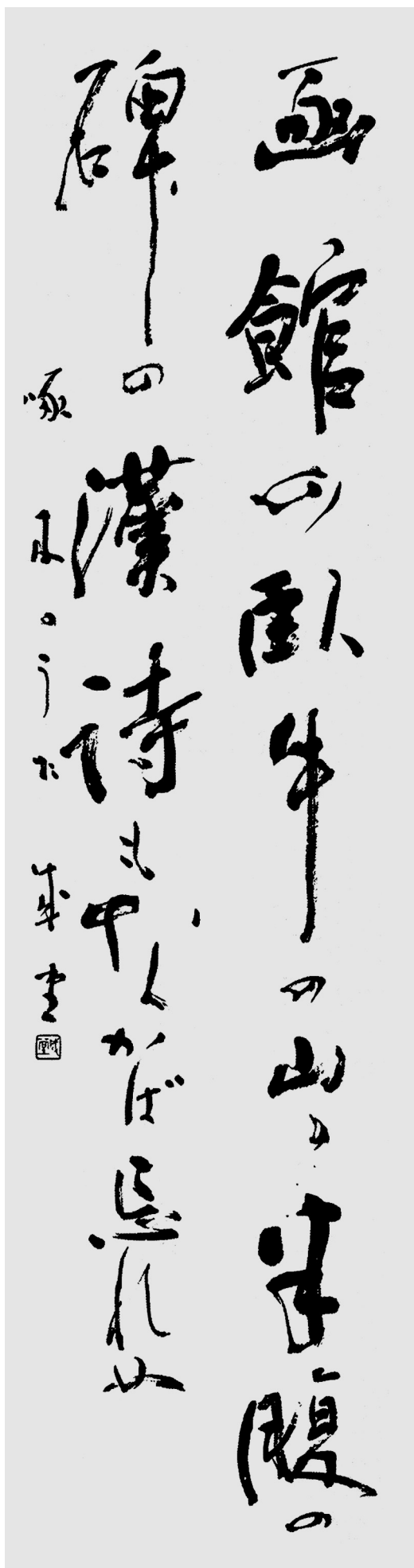


▽伊都内親王願文

寶巖非莊嚴而真嚴姑喇仙嶮是妙說而

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課題のいずれか一点のみとする）

吉田成堂先生書



□石川啄木のうた 忘れがたき人々（抄） 函館の 臥牛の山の 半腹の 碑の漢詩もなかば忘れぬ。

▲手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。▽

半折作品は各課題ごとに横1/2に一枚ずつたんで提出ください。

条幅 随意参考手本（半折 $\frac{1}{2}$ 横のみ） —10月末日締切—

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

△手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。▽



清原大龍先生書

□ 山の端のまぶしき釣瓶落としかな
鷹羽狩行の句

秋になると日の暮れるのが早い。もう釣瓶を知っている人は少ないのでは。

・釣瓶
〈井戸の水をくみ上げる
ときの桶〉



井之上南岳先生書

□ 「三餘」

三つの余り

冬は年の余り、夜は日の余り、陰雨は時の余り。
冬、夜、雨は読書に最良の三つの時の意。二文字の大きさに変化をつけてみました。

※半折 $\frac{1}{2}$ 横の出品票は作品の左下に貼って提出下さい。

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

露垂星影
路垂星影

成美



□ 露は垂れて星影湿う (宋・胡仲参「道中早発」)
しつとりとした夜気に星影は潤いを見せる。

次号予告「天寒遠山浄」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課題は一人一点とする)



□ 露は垂れて星影湿う (宋・胡仲参「道中早発」)
しつとりとした夜気に星影は潤いを見せる。

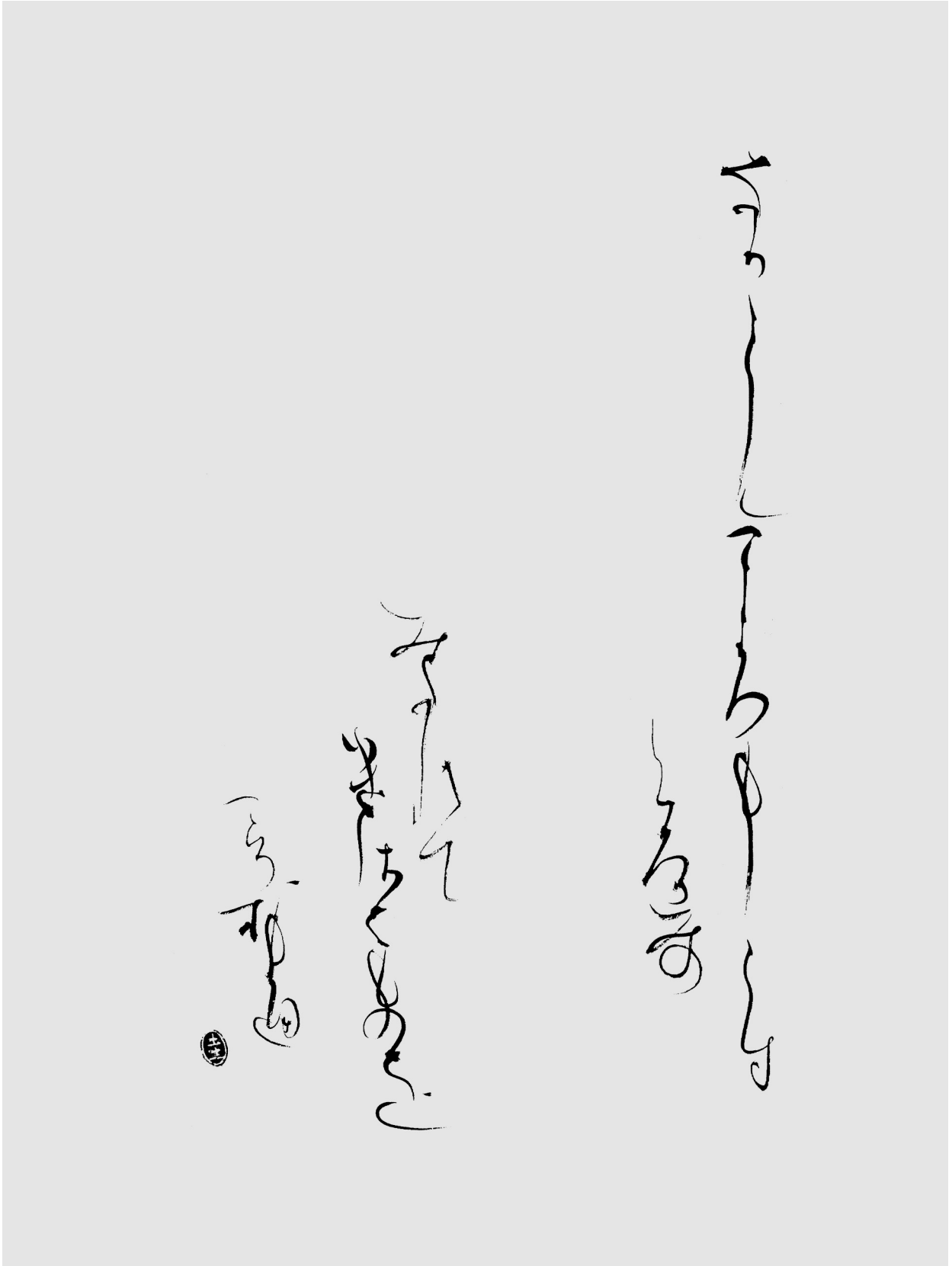
次号予告「天寒遠山浄」

吉田成美先生書

半紙随意参考手本 —10月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

長からむ 心もしらす 黒髪の みたれてけさは 物をこそ思へ



△仮名▽

な^か可^ららむ 心^もしらす 黒^の髪^の みた^たれて^けさは 物^をを^こそ^おも^も遍^へ

舟尾圭碩先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△詩文書▽

白田^{うすだ}亜浪^{あろう}の句
きりぎりす
夜の遠山と
なりゆくや



きりぎりす
夜の遠山と
なりゆくや

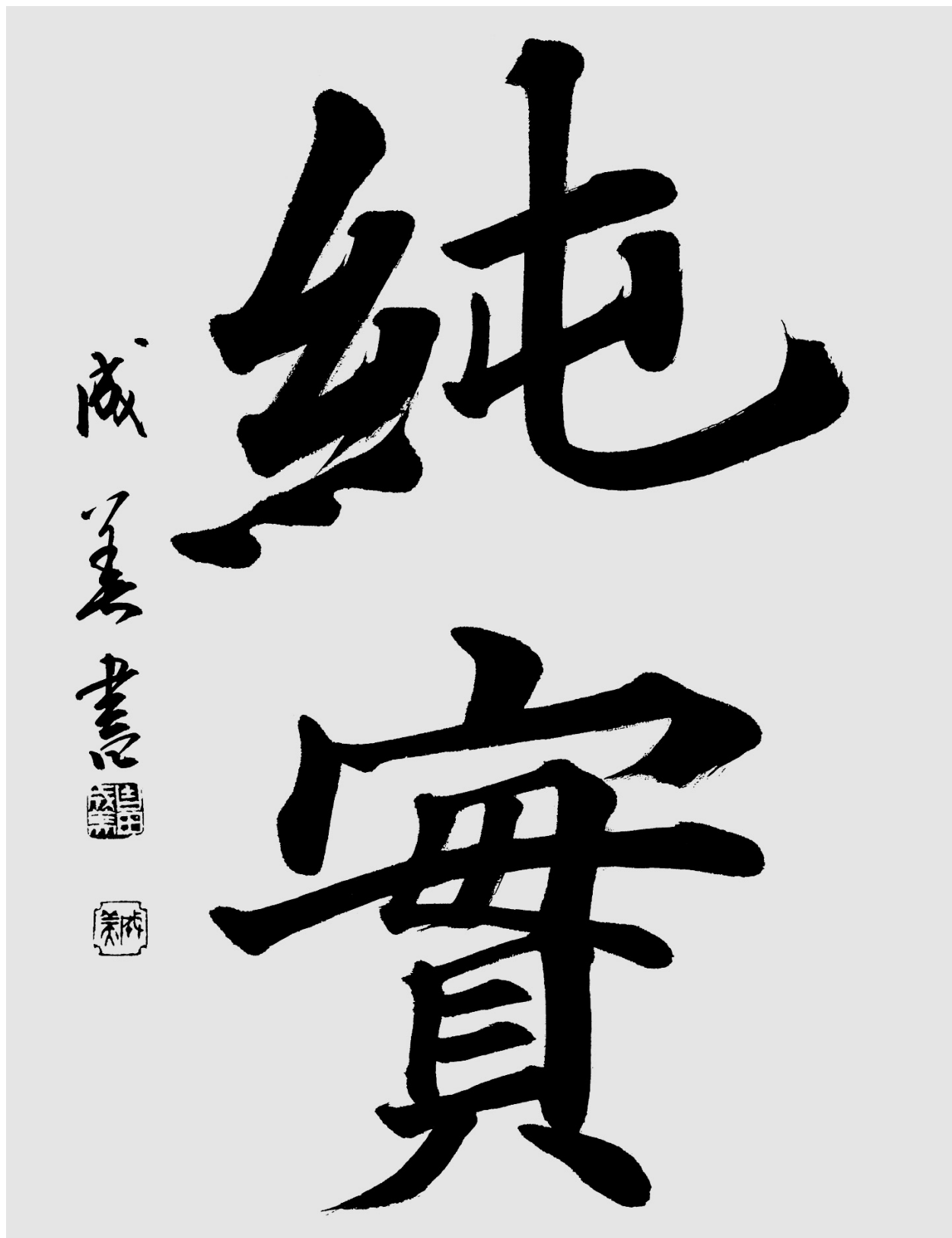
亞浪の句
和子

※出品券は、半紙をタテにした左下に貼って提出ください。(ヨコ作品の場合も半紙をタテにして同様に貼ってください)

川上和子先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

□ 純 実 (「莊子」繕性)
純粹篤実なこと。



次号予告「綱直」

吉田成美先生書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課題は一人一点とする）



△臨書▽ 俯仰法を意識し、やや右上がり力で強く書きましょう。

「非莊嚴而眞」

渡 邊 大 嶽 先 生 臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△実用書▽

十月の花 コスモス 日々草 睡蓮 木槿 百日紅
 水引 サルビア 白粉花^{おしろいばな} ダリア 玉簾^{たますだれ} 金木犀^{きんもくせい}

姓
号

ダリヤ	水引	睡蓮	十月の花
玉簾	サルビア	木槿	コスモス
金木犀	白粉花	百日紅	日々草

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課題のいずれか一点のみとする)

この度はご入賞おめでとうございませう
見事な大作を会場で見ました
素晴らしい作品に魂を揺さぶられた
ような大きな感動を覚えました
今後のご健闘を祈ります 池田

△手紙文▽

この度はご入賞おめでとうございます 見事な大作を 会場で見ました 素晴らしい作品に
魂を揺さぶられるような 大きな感動を覚えました 今後のご健闘を祈ります 池田

伊良子 喜代 先生 書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

書譜

△暮らしに役立つ書▽

拝復

立派な句集をお送りいただきありがとうございます、誠に有難うございました。

長年のご研鑽が、このような形で結実するというのは、なんて素晴らしくないのでしよう。心からのお祝いを述べさせていたゞきます。

早速、今夜にでもゆっくり拝見させていたゞくつもりでございますが、とりあえずお礼をお申しあげます。

野のある便箋に書いてみよう。

△26cm×18cm▽

紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

小 畠 秋 聲 先 生 書

一般硬筆部参考手本 —10月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

	い出の中ではない時も青く、そそ高い。	が吸われていく高度成長期の空は、想	の秋。小学校の運動会が浮かぶ。歓声	クセイの香りに喚起される。それそれ	匂いは幼い頃の記憶を呼び覚ます。そ
段 級					
氏 名					

小 畠 秋 聲 先 生 書



今月のかきかたドリル

(形や注意する点に気をつけてゆくり書こう！)

中学	小学6年	小学5年	小学4年	小学3年	小学2年	小学1年	ようねん
企	命	飛	秋	送	帰	空	ひ
企	命	飛	秋	送	帰	空	ひ

一般の方も是非チャレンジしてください。

坂元紫香先生書

知り合い

小学4年

水の玉

小学3年

カステラ

小学2年

おむぎ

ようねん・小学1年

(この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。)

理想の実現

中学2・3年

伝統文化

中学1年

あけびの実

小学6年

本を読む

小学5年

坂元紫香先生書

△条幅¼||四尺画仙紙半折¼: 68cm×17.5cm▽

□「カ」は直線的に、また、「ハネ」「ハライ」はゆっくりと書いていねいに書きましょう。

テカ
ラス

小学二年

次号予告「ブラジル」

□「む」の二画目の「むすび」は筆の軸だけをまわさないように気をつけましょう。

むぎ

ようねん・小学一年

次号予告「リ
オ」

坂元紫香先生書

□「知」は部分の組み立て方に注意し、「る」は横結びの筆使いをたしかめて書こう。

知
る

小学四年

次号予告「世
界」

□始筆のはり方と線の方向に注意し、中心とバランスに気をつけ、明るく伸びやかに書こう。

水
玉

小学三年

次号予告「日
本」

吉田成美先生書

小学五年



次号予告「勝つ」

□「言」(ごんべん)の右側をそろえ、「宀」を大きめに書きましょう。

小学六年

次号予告「祭典」



□「あけび」は文字の大きさに気をつけ、「実」はや、大きく、左右の「払い」をのびのびと。

秋永春霞先生書

中学一年



次号予告「英雄」

□文字の配置、画数の多い文字と少ない文字との調和に注意して、明るく伸びやかに書こう。

中学二・三年

次号予告「熱戦」(行書)



□筆の穂先をつかって、リズムにメリハリをつけ、急がずにゆったりとした気持ちで書こう。

吉田成美先生書

段級						
氏名						
あ	ら	わ	れ	ま	し	た。
き	な	く	じ	ら	が	
い	る	と	空	に	大	
た	い	そ	う	を	し	て

小学一年

①だてよじせんにつける
 ②まける
 ③まける
 ④まける
 ⑤まける
 ⑥まける
 ⑦まける
 ⑧まける
 ⑨まける
 ⑩まける
 ⑪まける
 ⑫まける
 ⑬まける
 ⑭まける
 ⑮まける
 ⑯まける
 ⑰まける
 ⑱まける
 ⑲まける
 ⑳まける
 ㉑まける
 ㉒まける
 ㉓まける
 ㉔まける
 ㉕まける
 ㉖まける
 ㉗まける
 ㉘まける
 ㉙まける
 ㉚まける
 ㉛まける
 ㉜まける
 ㉝まける
 ㉞まける
 ㉟まける
 ㊱まける
 ㊲まける
 ㊳まける
 ㊴まける
 ㊵まける
 ㊶まける
 ㊷まける
 ㊸まける
 ㊹まける
 ㊺まける
 ㊻まける
 ㊼まける
 ㊽まける
 ㊾まける
 ㊿まける

段級						
氏名						
え	ん	そ	く	お	お	ん
と	う	く	ひ	ら	い	

①とめる
 ②はらう
 ③とめる
 ④とめる
 ⑤とめる
 ⑥とめる
 ⑦とめる
 ⑧とめる
 ⑨とめる
 ⑩とめる
 ⑪とめる
 ⑫とめる
 ⑬とめる
 ⑭とめる
 ⑮とめる
 ⑯とめる
 ⑰とめる
 ⑱とめる
 ⑲とめる
 ⑳とめる
 ㉑とめる
 ㉒とめる
 ㉓とめる
 ㉔とめる
 ㉕とめる
 ㉖とめる
 ㉗とめる
 ㉘とめる
 ㉙とめる
 ㉚とめる
 ㉛とめる
 ㉜とめる
 ㉝とめる
 ㉞とめる
 ㉟とめる
 ㊱とめる
 ㊲とめる
 ㊳とめる
 ㊴とめる
 ㊵とめる
 ㊶とめる
 ㊷とめる
 ㊸とめる
 ㊹とめる
 ㊺とめる
 ㊻とめる
 ㊼とめる
 ㊽とめる
 ㊾とめる
 ㊿とめる

ようねん ※ようねんの方は、小学一年の課題を書いてもよい。但、審査は従来通りです。

	段 級			
	氏 名			
	お父さんは白、たすきを をかたから、ななめにか け、目の丸のはたに送ら れて、列車に乗りました。			

小学三年

「送り」帰かへりかへ「はねる」
「送る」送おくるおく

「はらう」はねるはねる
「丸」列むら列むら

「左右に長く書く」
「乗る」乗のるの

	段 級						
	氏 名						
	かえるくは、 大いそぎで、家へ 帰りました。紙に 何が書きました。						

小学二年

「はねる」
「送り」帰かへりかへ「はねる」
「紙」紙かみ紙かみ

小学四年

ある秋の一日でした。三三		日雨が降り続いたその間、		二人は外へも出られなく		て、あなの中にいました。	
段	級	氏	名	段	級	氏	名

◎上の横画より短い
 ◎とめる
 「門」門問
 「糸」糸統
 (つ)

一斗中出出

小学五年

ガンの群れは、残雪に導かれ		て、実にすばやく動作で、ハヤ		ブサの目をくらしながら飛		び去っていきます。「あっ。一羽		飛びおくれたのがいます。	
段	級	氏	名	段	級	氏	名		

◎つき出ない
 「ヨ」尹君群
 ヌ 片首道導
 (みち) 導
 ◎はねる
 「飛」飛飛飛
 ◎はねる
 「雪」残雪 (さんせつ) (む)

小学六年

世界には決して平和とはいえない地域がある。そのような場所
 で子どもたちの健康や命を守る活動をしている「エニセフ」とい
 う団体があることを最近知った。

①墨を好まぬように
 ②き出る
 ③つき出ない
 上 垣 垣 域 域
 下 信 律 律 健 健
 最 最 最 最

必要が情報を正確に伝えることに
 加えて、私たちが力を注いだことが
 もう一つある。それは、人々の「声」を
 伝えていくことである。そのため、
 シタビエー番組を数多く企画した。

④はねる
 ⑤はねる
 ⑥はねる
 ⑦はねる
 ⑧はねる
 ⑨はねる
 ⑩はねる
 ⑪はねる
 ⑫はねる
 ⑬はねる
 ⑭はねる
 ⑮はねる
 ⑯はねる
 ⑰はねる
 ⑱はねる
 ⑲はねる
 ⑳はねる
 ㉑はねる
 ㉒はねる
 ㉓はねる
 ㉔はねる
 ㉕はねる
 ㉖はねる
 ㉗はねる
 ㉘はねる
 ㉙はねる
 ㉚はねる
 ㉛はねる
 ㉜はねる
 ㉝はねる
 ㉞はねる
 ㉟はねる
 ㊱はねる
 ㊲はねる
 ㊳はねる
 ㊴はねる
 ㊵はねる
 ㊶はねる
 ㊷はねる
 ㊸はねる
 ㊹はねる
 ㊺はねる
 ㊻はねる
 ㊼はねる
 ㊽はねる
 ㊾はねる
 ㊿はねる
 ㉑はねる
 ㉒はねる
 ㉓はねる
 ㉔はねる
 ㉕はねる
 ㉖はねる
 ㉗はねる
 ㉘はねる
 ㉙はねる
 ㉚はねる
 ㉛はねる
 ㉜はねる
 ㉝はねる
 ㉞はねる
 ㉟はねる
 ㊱はねる
 ㊲はねる
 ㊳はねる
 ㊴はねる
 ㊵はねる
 ㊶はねる
 ㊷はねる
 ㊸はねる
 ㊹はねる
 ㊺はねる
 ㊻はねる
 ㊼はねる
 ㊽はねる
 ㊾はねる
 ㊿はねる